

2010年 3月20日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人シニアメイトサービス

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

成年後見制度支援者養成講座

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

平成12年4月、介護保険制度と同時にスタートした成年後見制度ですが、あまり利用されていません。判断能力が低下しているにも関わらず、利用されていないのは手続きの難しさもありますが、制度がよく理解されていないためだと思います。本人を守るための制度であることを理解してもらう必要があります。

東京都でも社会貢献型後見人の養成を18年度から行っていますが、行政の取組み次第で大きく差があります。地域で社会貢献活動としての後見人の養成を行うことが求められています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

現場の職員に対して、成年後見制度の理念・概要・手続き・後見人の職務・費用などを、弁護士、司法書士、社会福祉士の先生に講義してもらいます。

市民後見人を希望する方には、上記の講義に加え、6ヶ月間の継続研修で、事例検討や実務研修、実際に活動している後見人について同行研修などを受けてもらい、倫理観及び支援の方法を学んでもらいます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

講義を聞いただけでは難しい制度ですので、後見活動の事例報告や、事例検討をグループワークで行うことにより、後見実務を理解していただくようにしました。

また、実際に後見活動の現場に同行することで、より理解を深めてもらえるように工夫しました。同行研修報告書や研修終了後のアンケートでも、後見実務をより理解できたと記入されていました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

反省点として、福祉関係者向けと、市民後見人養成講座を合わせて企画したことで、目的がわかりにくかったように思います。市民後見人の養成講座が7ヶ月と長かったにもかかわらず、皆さんとても熱心で7ヶ月をちょうどよい期間と言って下さったのでほっとしております。

シニアメイトサービスとしての法人後見の審判が3月におりましたので、この講座の意義が大変大きなものになりました。今後の市民後見人養成講座の企画、運営に活かすことができ、良かったと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし